



議会だより

でいすかす

92号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2018.6.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

予算審査特集 平成30年度予算を問う



平成30年第1回定例会において、3月14日～16日、19日の4日間、予算・決算委員会を開き、平成30年度の予算関連議案の審査を行いました。

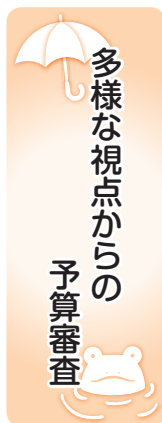
委員16名から延べ165項目にわたる質疑の後、総括質疑を行い、審査は合計で約20時間30分に及びました。

その結果、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は採決により可決、そのほかは全会一致で可決しました。

平成30年度の予算審査は4日間にわたり、国民健康保険などの6特別会計と一般会計の審査を行いました。介護保険特別会計では、生活支援体制整備事業の講演会などにおける広報の効果、学校給食事業特別会計では施設備品などの整備更新計画の考え、カルルス温泉スキー場事業特別会計では、スキー場の役割と経営に係る調査の考えなど、全特別会計において事業内容をたしました。

一般会計では市民活動センターの民間運営への考えについて、生活困窮者自立支援事業の取り組み内容と庁内の連携状況、児童虐待防止啓発事業は専門員の業務内容について、登別ブランドは食品以外のブランド品創出を、市民参加のマスタープラン策定や、救急救命士養成の取り組み、市民プールの修繕費と受益者負担の考えなど、幅広く多様な視点で事業内容をたしました。

最後に市民・前進と市政クラブ21の2会派より総括質疑を行い、厳し



平成30年度
予算審査の概要

い財政状況の中、歳入確保と歳出縮減の考えや、適正な事務事業評価を行った上で予算編成がなされているのかなどをたしました。従前以上に施設などの現状把握、各事業の的確な分析などを行った上で質疑が展開された予算審査でありました。

(松山)

